

製品名: Bak ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01714**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.18mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 23 kDa; Observed MW: 23 kDa

抗原情報

遺伝子名	BAK1
別名	BAK1; BAK; BCL2L7; CDN1; Bcl-2 homologous antagonist/killer; Apoptosis regulator BAK; Bcl-2-like protein 7; Bcl2-L-7
遺伝子 ID	578
SwissProt ID	Q16611
免疫原	ヒト Bak の合成ペプチド

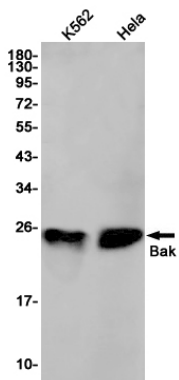
背景

BakはBcl-2ファミリーに属するアポトーシス促進因子です。このタンパク質はミトコンドリア外膜に局在し、ミトコンドリア経路を介したアポトーシスシグナル伝達に不可欠な構成要素です。アポトーシス刺激を受けると、上流刺激因子（例えば切断型 BID (tBID)）がBakの構造変化を誘導し、ミトコンドリア膜にシトクロムc放出のためのオリゴマーチャネルを形成します。シトクロムcが細胞質へ放出されると、カスパーゼ9経路が活性化され、最終的に細胞死に至ります。

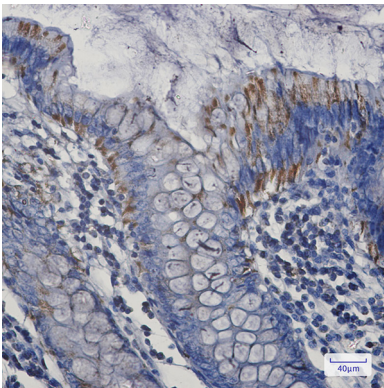
研究分野

細胞生物学

画像データ



Bak 抗体を使用した K562、Hela 溶解物中の Bak のウェスタン ブロット分析。



Bak 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。